

## 交付運用報告書

# DIAM米国リート・オープン (毎月決算型)

追加型投信／海外／不動産投信

第5期<決算日2015年9月8日>  
第6期<決算日2015年10月8日>  
第7期<決算日2015年11月9日>  
第8期<決算日2015年12月8日>  
第9期<決算日2016年1月8日>  
第10期<決算日2016年2月8日>

作成対象期間：2015年8月11日～2016年2月8日

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「DIAM米国リート・オープン（毎月決算型）」は、2016年2月8日に第10期の決算を行いました。

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の証券取引所に上場もしくは上場に準ずるリートに投資し、信託財産の着実な成長と比較的高い配当利回りを安定的に獲得することを目標として運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

**DIAMアセットマネジメント株式会社**

東京都千代田区丸の内3-3-1

(URL) <http://www.diam.co.jp/>

第10期末（2016年2月8日）

基準価額	9,335円
純資産総額	3百万円
第5期～第10期	
騰落率	△5.9%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

☎コールセンター：0120-506-860

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで  
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

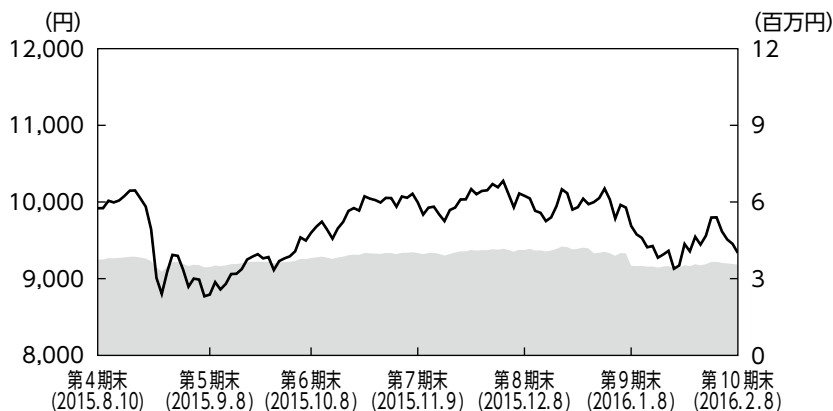
当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、以下の方法により閲覧、ダウンロードいただけます。なお、運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」等から「運用報告書一覧」⇒当ファンドのファンド名称を選択

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第5期首：9,919円  
 第10期末：9,335円  
 (既払分配金0円)  
 騰落率：△5.9%  
 (分配金再投資ベース)

■ 純資産総額 (右軸) — 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

世界経済の減速懸念や原油価格の下落などを受けたリスク回避の動きを背景に、米国リート市場が下落したことや、円高の進行がマイナスに寄与したことから、基準価額は下落しました。

### ◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
D I A M US・リート・オープン・マザーファンド	△5.4%

## 1 万口当たりの費用明細

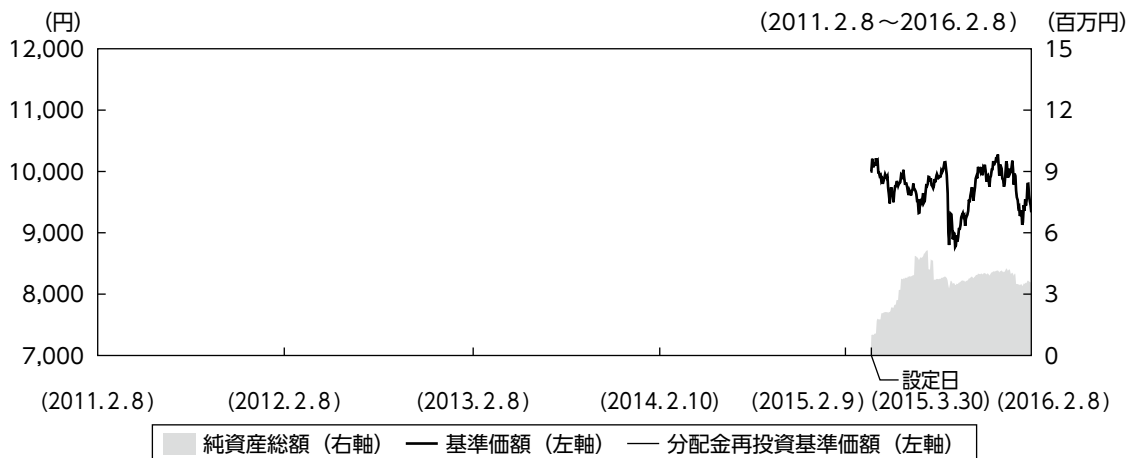
項目	第5期～第10期		項目の概要
	(2015年8月11日 ～2016年2月8日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	79円	0.816%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,675円です。
(投信会社)	(46)	(0.472)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(31)	(0.322)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、 口座内でのファンドの管理等の対価
(受託銀行)	( 2)	(0.021)	受託銀行分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行 等の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.053	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(投資証券)	( 5)	(0.053)	
(c) その他費用	0	0.004	(c) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 0)	(0.004)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する諸費用
合計	84	0.873	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。

(注2) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

		2015年3月30日 設定日	2016年2月8日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	10,000	9,335
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△6.7
純資産総額	(百万円)	1	3

(注1) 設定日の基準価額は、設定当初の投資元本です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

## 投資環境

米国リート市場は、中国をはじめ世界的な景気減速に対する警戒感の高まりなどから下落しましたが、米国の利上げ先送りなどを背景に国債利回りが低下基調で推移したことや、欧州や日本、中国など主要国で追加緩和期待が高まったことが下支えとなり、株式市場に比べて下げ幅は限定的となりました。2015年12月半ばには、FOMC（米連邦公開市場委員会）で利上げが決定されましたが、今後の利上げペースが緩やかなものになることが確認されたことから下落要因とはなりませんでした。

為替市場では、米ドルに対して円高が進行しました。米国の利上げが緩やかなものになる見通しが強まる一方で、新興国経済の減速や資源価格の下落によりリスク回避の動きが強まり、安全資産と見られた円が買われる展開となりました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

D I A M US・リート・オープン・マザーファンドの組入比率を期を通じて高位に維持しました。

### ●D I A M US・リート・オープン・マザーファンド

適正価格に到達した銘柄については適宜入れ替えを行いました。また、米国景気の先行きや中期・長期金利の動向も注視しつつ、保守的な財務体質かつ長期的に見て成長見込みがある銘柄や、割安な水準にある銘柄を選別して投資しました。その結果、住居施設などの組入比率が上昇した一方、工業や混合型などの組入比率が低下しました。

## 分配金

当作成期の収益分配金につきましては、分配方針に基づき無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期
	2015年8月11日 ~2015年9月8日	2015年9月9日 ~2015年10月8日	2015年10月9日 ~2015年11月9日	2015年11月10日 ~2015年12月8日	2015年12月9日 ~2016年1月8日	2016年1月9日 ~2016年2月8日
当期分配金（税引前）	-円	-円	-円	-円	-円	-円
対基準価額比率	-%	-%	-%	-%	-%	-%
当期の収益	-円	-円	-円	-円	-円	-円
当期の収益以外	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額	82	131	222	310	346	346

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

引き続き、D I A M US・リート・オープン・マザーファンドを高位に組入れることにより、実質的な運用を当該マザーファンドにて行います。

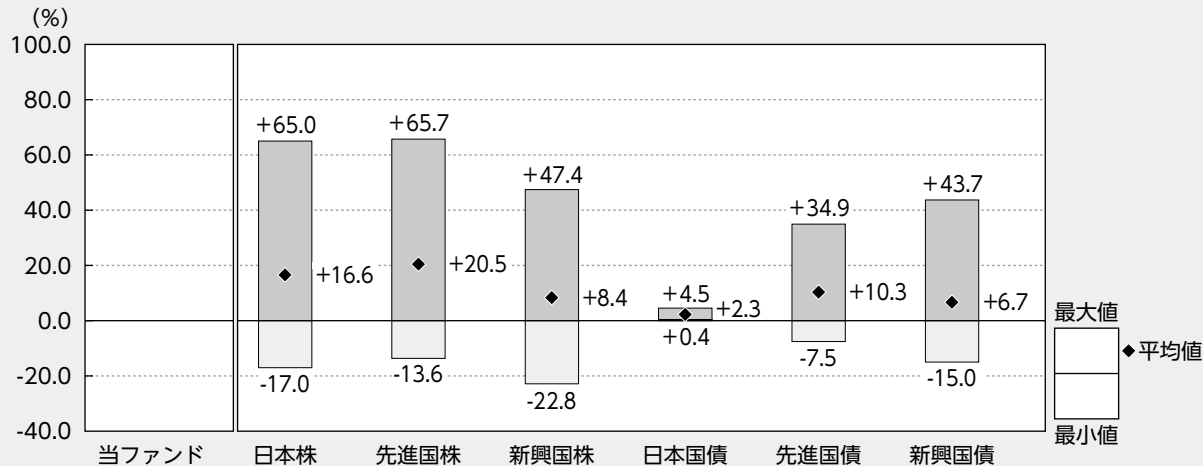
### ●D I A M US・リート・オープン・マザーファンド

世界経済の減速リスクが米国経済の減速へと波及するリスクを警戒する必要はありますが、米国の経済が底堅い内需に支えられていることから、米国リート市場が大きく下落する可能性は低いと見ています。引き続き財務体質が良好で、長期的な成長が期待できる銘柄を選別して投資する方針です。また、割安な水準にある銘柄にも投資することにより、比較的高い配当利回りを安定的に獲得することを目指してポートフォリオを構築します。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信	
信託期間	2015年3月30日から2025年2月10日までです。	
運用方針	信託財産の着実な成長と比較的高い配当利回りを安定的に獲得することを目標として運用を行います。	
主要投資対象	DIAM米国リート・オープン（毎月決算型）	DIAM US・リート・オープン・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	DIAM US・リート・オープン・マザーファンド	米国の証券取引所に上場もしくは上場に準ずる不動産投信等の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	<p>マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の証券取引所に上場もしくは上場に準ずるリート（不動産投資信託または不動産投資法人）に投資します。</p> <p>実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。</p> <p>マザーファンドの組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>マザーファンドの運用指図に関する権限は、デービス・セレクトド・アドバイザーズに委託します。</p> <p>マザーファンドにおける不動産投信等への投資は、原則として高位を維持することをめざします。</p>	
組入制限	<p>投資信託証券への実質投資割合には制限を設けません。</p> <p>株式への投資は行いません。</p> <p>外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p>	
分配方針	<p>決算日（原則として毎月8日。休業日の場合は翌営業日。）に経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。原則として、配当等収益を中心に分配を行うことを基本とします。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。</p> <p>※当初設定から1年間は無分配とします。</p>	

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンド：2016年1月末現在、設定後1年を経過していないため、データはありません。

代表的な資産クラス：2011年2月～2016年1月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

## \*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（円ベース、配当込み）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース、配当込み）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。

●「東証株価指数（TOPIX）」は、株式会社東京証券取引所（株東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、株東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、株東京証券取引所は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

●「MSCIコクサイ・インデックス」「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が公表しているインデックスで、当該指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に属しており、また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

●「シティ世界国債インデックス」に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はシティグループ・インデックスLLCに帰属します。

●「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド」に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

#### ◆組入ファンド等

(組入ファンド数：1ファンド)

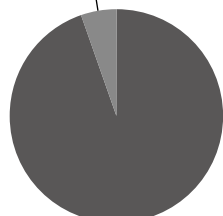
	第10期末
	2016年2月8日
DIAM US・リート・オープン・マザーファンド	94.6%
その他	5.4

(注1) 比率は第10期末における純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

#### ◆資産別配分

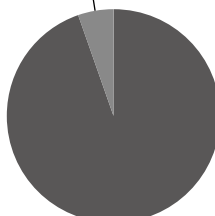
その他  
5.4%



親投資信託受益証券  
94.6%

#### ◆国別配分

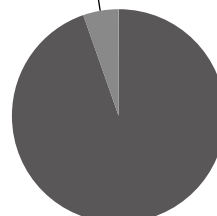
その他  
5.4%



日本  
94.6%

#### ◆通貨別配分

その他  
5.4%



日本・円  
94.6%

(注1) 比率は第10期末における純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

### 純資産等

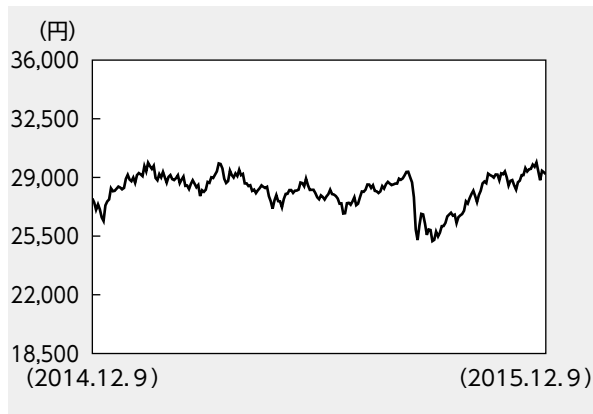
項目	第5期末	第6期末	第7期末	第8期末	第9期末	第10期末
	2015年9月8日	2015年10月8日	2015年11月9日	2015年12月8日	2016年1月8日	2016年2月8日
純資産総額	3,453,808円	3,806,479円	4,003,602円	4,118,854円	3,504,474円	3,551,702円
受益権総口数	3,928,059口	3,965,329口	4,006,178口	4,085,904口	3,617,234口	3,804,705口
1万口当たり基準価額	8,793円	9,599円	9,994円	10,081円	9,688円	9,335円

(注) 当作成期間(第5期～第10期)中における追加設定元本額は833,876円、同解約元本額は811,136円です。

## 組入ファンドの概要

[DIAM US・リート・オープン・マザーファンド]（計算期間 2014年12月10日～2015年12月9日）

### ◆基準価額の推移



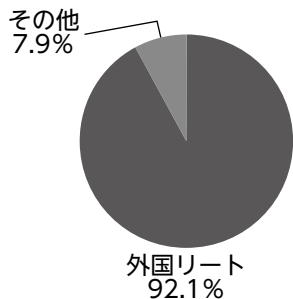
### ◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
BOSTON PROPERTIES INC	アメリカ・ドル	5.2%
SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ・ドル	4.4
KITE REALTY GROUP TRUST	アメリカ・ドル	4.2
CYRUSONE INC	アメリカ・ドル	4.2
VORNADO REALTY TRUST	アメリカ・ドル	3.8
TERRENO REALTY CORP	アメリカ・ドル	3.7
DCT INDUSTRIAL TRUST INC	アメリカ・ドル	3.6
ACADIA REALTY TRUST	アメリカ・ドル	3.5
CATCHMARK TIMBER TRUST INC	アメリカ・ドル	3.4
AMERICAN CAMPUS COMMUNITIES	アメリカ・ドル	3.4
組入銘柄数	39銘柄	

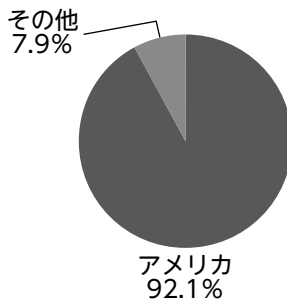
### ◆1万口当たりの費用明細

項目	金額
(a) 売買委託手数料 (投資証券)	36円 (36)
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	3 ( 3) ( 0)
合計	39

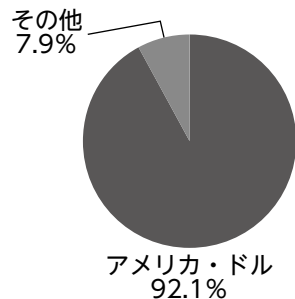
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ（1万口当たりの費用明細）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。